

昨年の冬は灯油1缶で 1,700 円！なんでもかんでも物価は上がるし、家計はもう大変！
いったいどうしたらいいの？

東日本大震災のときはガソリンや灯油の確保に苦勞したわ。まだ寒いときに暖房が使えなくて、子どももお年寄りもみんな厚着して我慢したわ。



岩手県生協連主催

灯油学習会

今年はどうなる、原油と灯油！

～大震災時に燃料不足はなぜ起こったのか？

くらしを守るための今年の課題を考える

2011年9月15日(木) 10:30～12:15

岩手県水産会館 5階 大会議室

講師：神戸大学 二宮 厚美 先生

(神戸大学発達科学部教授)



参加無料

保育あります (前日までに下記にお申込ください)

昨年の冬は灯油1缶1,700円で、一冬の灯油代はここ10年で2番目に高い84,720円もの負担になりました。しかし、現在原油価格は上昇し続け、このままでは今年も1缶1,800～2,000円にもなってしまうおそれがあります。東日本大震災で地域経済もくらしも大変な中、こんな高額な灯油代は払えません。

また、震災時は灯油が不足し、買うことすらできない状況でした。なぜこのような状況が起きたのでしょうか。他の地区から配送したり、非常時のための備蓄はなぜすぐに放出されなかったのでしょうか。

被災地だからこそ、今年も灯油についてしっかり考え、学習し、力を合わせて運動をすすめていきましょう。

※学習会後、県連灯油委員会、岩手県への要請を予定しています。

お問い合わせ先 岩手県生活協同組合連合会 TEL：019-684-2225